

チェコの小型犬プラシユスキー・クリサジーク

チェコ共和国原産の小型犬プラシユスキー・クリサジークをチェコと協力してブリードしているPKJ

プラシユスキー・クリサジーク・クラブ・オブ・ジャパンのブログ

時期は、乾燥・埃・静電気に要注意

2017.02.20 Monday

寒い冬から
一步一步、春へと
近付いてますね。

この時期から花粉症に
悩まされる方々もいらっしゃる
のではないのでしょうか。

犬達が違和感を覚えるのは、
「乾燥」「埃」「静電気」。

ふわふわで
軽くてあたたかいフリースを
お洋服やベッドに使ってらっしゃる
ご家庭は多いと思います。



おうちの中が暖かく
乾燥していると、
静電気を発生し易いです。

ママと身体が触れた途端、
パチン！ と、お互いに痛い
なんてことがあるかも。

お部屋を暖める時は
加湿器と空気清浄機で
空調をコントロールすると
良いですね。

体内に蓄積した静電気は、
お散歩で土の上を歩くと
放電出来ます。



クリサジークは
身体が小さい分、
環境に左右され易い
とも言えます。

健康のためにも
暖かい日には是非、
お散歩で土の上を
歩いて下さいね。



冬のクリサジーク

2013.01.14 Monday

あけまして
おめでとうございます。

今年も
PKJをよろしく
お願い申し上げます。
寒い毎日ですね。

クリサジークは
犬にしては珍しく、
寒さにとても弱いです。

短毛で
シングルコートなので
体温を奪われやすいんですね。

ですから
あまりに寒い日や
風の強い日には
お散歩に行かないことも
多いです。

チェコの冬は厳しく、
雪で覆われてしまいます。

そんな時期には
暖かいお部屋を
走り回っている
子達が多いですよ。



ずーっとぬくぬくの場所に居ます。

2012.09.12 Wednesday

朝晩は少しマシに
なったとは言え、
まだまだ残暑が厳しいですね。

一般的に犬は、
寒さに強く、
暑さに弱いと
言われています。

ドッグ・グッズのお店では、
クールボード、冷え冷えマット等の
商品が賑わいましたよね。

でも、
クリサジークの飼い主の皆様は
スルーなさった方が多かったので
ないでしょうか。

そう、クリサジークは、
一般的な犬と違って
寒さにとても弱い反面、
暑さにはまだ耐えられる
という特徴があります。

もちろん暑いところに
置いておいていいという
わけではありませんよ！

でも、飼い主のために
お部屋に冷房を入れた際は、
クリサジークのために
寒かったら潜れる毛布を
お部屋においておくのが
ポイントです。

クリサジークと暮らすお家では、
夏でも、毛布を見掛けることが
決して珍しくありませんが、
クールボードがおいてあるお家は
珍しいかもしれません。

夏の過ごし方、
クリサジークはちょっと違います。

クリサジーク達のスペースには、
夏でも毛布がスタンバイしています。



クリサジークのシニアケア

2012.06.14 Thursday

プラシユスキー・クリサジークが
初めて日本に来たのが、1998年。

ガーインカと、もう一頭でした。

当時は、チワワより小型！？と、
テレビ番組「アンビリーバブル」で
紹介され、写真誌「アエラ」でも
取り上げられました。

—— * * * —— * * * ——

ですから、
最年長は14歳です。

我が家にも、11歳、10歳の
シニアなクリサジークがいます。

クリサジークは、
足が細くて長いです。

そのせいかどうか、

子犬の頃から
膝蓋骨の弱い子があります。

シニア世代になると、
サプリなどで、
関節ケアに励む
飼い主さんも多いですね。

また、口が小さく、
歯磨きの際、どうしても
磨き残しが出てしまい、
歯石取りが必要なことが多いです。

一般的に、7歳を過ぎれば
シニアと言われるワンコ。

かかりつけ医に
健康診断があるなら、
シニア世代は年に一回の
受診がお勧めです。

7歳以降は、
老人性白内障も心配です。

定期的に検査をし、
白内障の進行具合や
予防、治療について、
獣医さんと相談出来る態勢を
整えておきましょう。

登録名と愛称

2009.12.10 Thursday

あなたの愛犬にはどんな名前が付いていますか？
きっと家族になるとき、
みんなであれこれ迷いながら素敵な名前を決めた事でしょう。

純血種の場合、それとは別に「登録名」というものがあるのをご存知でしょうか。
そう、血統書の一番最初に書かれているその犬の登録名。
子犬が産まれて登録手続きをするとき、繁殖者がつけた名前です。

この名前そのまま呼ばれる子もいますが、
日本語では発音しにくい名前のことも多く、愛称をつける場合が多いですね。

さて登録名ですが、例えば我が家で生まれたジーマの場合。

成式に綴ると「Zima hop hop jp」となります。

Zima(ジーマ) が名前で、hop hop jp が犬舎号です。

犬舎号とは繁殖者が持つ屋号のようなもの。

名前の後に犬舎号がついて

「hop hop jp 犬舎生まれのジーマ君」

ということになります。

犬舎号はいわば苗字のようなものと思っていただければいい。

万が一同じクリサジークで他にジーマという名前の子がいたとしても、

犬舎号を見れば

どこで生まれたジーマ君なのかが分かるのだ。

それから、ジーマとはチェコ語で「冬」という意味。

「寒い」という意味でも使われます。

晩秋生まれの彼の胸には小さく白い毛が生えていて、それが冬を連想させました。

男の子らしいキリリとした良い名前だと思っています。



ぼくジーマ。名前も体格も男らしいんだけど。気は優しいんだ。

PKJ のクリサジークの場合、生まれた後も成長を見守ったり、

繁殖犬になったり、チェコの PK クラブの方々と相談をすることも多いので、

できれば登録名をそのまま呼びたいと思っています。

チェコでは愛称をつけることが少なく、

それに愛称があると、話をしているうちに混乱してしまうから。

それもあって、私は名前はなるべくチェコ語でつけたいと努力している。

呼びやすく、つづりもわかりやすく。

私は好きな花や木の名前をつけたり、

歴史上の人物、

友人の名前をそのままもらったりもします。

我が家の子供達(人間)がチェコで暮らしていたときの愛称をつけたクリサジークもいます。

登録名にもとても愛着のある PKJ なのです。

潰しそうになった

2009.11.08 Sunday

PK クラブの会報誌に面白いマンガが載っていた。
ゆったりしたワンピースを着たふくよかなご婦人が
「この犬探しています。」のポスターをレンガ塀に貼っている。
可愛そうに、愛犬のクリサジークが行方不明になったようだ。

が、ポスターを貼るその後姿を見ると、
実は当の愛犬はご婦人のお尻の割れ目に挟まっている、というもの。

想像できたでしょうか？

これは、小さなクリサジークの思わぬ事故に注意、という風刺マンガだった。
が、以前そんな事を本当にやってしまったことがある。

あ、
割れ目には挟まりませんでした、
椅子に座った瞬間、嫌な感触。
跳ぶように立ち上がったと同時に私は
「があっ！」と訳のわからない叫び声をあげていた。

背もたれにかけてあったトレーナをめくると
ポルダが寝ぼけ眼で
「そんなびっくり顔して、どうした？」
と私を見上げていた。

つぶれてないのね！？
眠いの！？
今、私につぶされたのに！？
なのに、眠いってわけ？

「……。」
「ちよつとお〜っ！！」
と、何となくポルダを攻めた私。

ハイ、私が悪かったんです。
日々気を付けているつもりだったのに、注意が足りませんでした。

小さなクリサジークはちょっとしたスペースに入り込む。
クッションの裏、こたつ布団のしわの中、脱いだ服の下。

私が軽くなって良かった。
じゃなくて、運が良かった・・・だけ。

ごめんポルダ。
超反省。



良い家庭犬になるための秘訣 その2

2008.10.17 Friday

良い家庭犬って、どういうことでしょうか？

もちろん、各家庭で望むものは違うにしても、基本的には、健康で聡明で、家族として人間や他の動物たちと幸せに共存して行ける。人も犬もなるべく負担なく一緒に楽しい生活が送れる。そんな、相棒のことではないでしょうか。

以前、良い家庭犬を送り出すためにPKJが大切にしていることについて書きました。子犬時代の生活の質は一生を大きく左右すると考えているからです。

と同時に、新しい家族のもとに行ってから生活もその犬の性格に大きく関わる、と言われてます。1歳までに経験したこと、覚えたことは一生有効なのです。ですから、良い相棒との生活を望むのなら、それまでに充分接してあげることが大切です。

1歳までに家庭のルールを覚えてもらう努力をしましょう。子犬が勇気を持っていろいろな場所を探検できるのはすばらしい事だけれど、どこにいても何をしても、呼んだら必ず戻って来るように。愛犬と一緒に外出はとっても楽しいものだけれど、おとなしく留守番もできるように。それからそれから・・・あなたの望むことは何ですか？

最初からできる子はいません。
毎日繰り返して教えていくのです。

そして、その前に、やっぱり健康な基本的生活習慣の継続が大切ですね。
良質でバランスよい食事、新鮮な水、暖かく清潔なベッド、そして家族の愛情。
これを愛犬の一生保障してください。
簡単なことだけれど、と一つでも大事。
現実には、これさえ与えてもらっていない子がたくさんいます。

だから、秘訣なんていってしまったけれど、特別難しい事ではありません。
それができていればきっと良い家庭犬になっていることでしょう。



と、いろいろ書きましたが、理想と現実は違って、
「まったく、困った子ね！」
なんて事、もたまにはね。
でもね、そんな子と目が合ったとき、
「ハア～、ウチの人はまったく・・・。」なんて顔していたことありませんか？

飼い主と愛犬は似るというじゃないですか。
良いところも悪いところも、許しあってこそ家族ですから、
愛犬に「今日ごめんよー。」って日があっても、
「しょうがないなあ。」とか
「まあ、いいよ。」
なんて顔をしていていれば、それはそれで良い家族、
良い家庭犬なんじゃないでしょうか。



良い家庭犬になるための秘訣 その1

2008.06.18 Wednesday

秘訣、なんて大げさなものじゃないけれど、
大切な事いろいろ。
まずは、巣立つまでの3か月。
歩けるようになった子犬の毎日は運動会です。



みんなでママをやっつけよう！



あれ？あっちでもレスリングが…。



やっぱりママにはかなわない…。

「参りました。」

こんな毎日がとても大切。

ママはこれでも手加減して子犬たちのお相手をしているし、
子犬たちにはこうやって分別がついていきます。

部屋中とところ狭しと走り回り、

ママ以外にもラブラドルの翔おじさんのしっぽやカーテン、
スリッパや椅子にかかったリュックにまで戦いを挑み、
たまには他のクリサジークにしつこくして怒られシユンとなり。

疲れるとコテツと寝て、起きると寝ぼけ眼でおトイレに行き、いいうんちとおしっこ。
ちゃんとできると、この家の母さん(私)が喜んでるよ。

ご飯をパクパクと食べ、また運動会…。

あまりに悪い事をする、今度は母さんに「コレッ！」としかられて。

もうすっかりご飯が食べられるのに、

眠くなるとママのおっぱいをチュッチュしながら眠りについたり。

こういう事も本当に大切。



生後3ヶ月の巣立ちまで、この日々が続きます。

彼らの瞳はいつでも幸せそうに輝き、好奇心に溢れています。

もちろん基本は良質でバランスよい食事、新鮮な水、暖かく清潔なベッド。

いろんな音や物、いろんな匂いのある、人と共同の生活空間。

それから、やっぱりママと一緒にいい。

こんな、ママや他のワンコたち人間家族との何でもない日常がとても大切で、

こうやって育った子犬はきっと良い家庭犬になるのです。

そして、こんな何でもない日常は、

繁殖家の日々の細やかな努力があってこそ成立します。

愛犬があなたの手元に来るまでどんな環境で育ったか、想像したことはありますか？

ショップでは販売していません

2008.02.06 Wednesday

時々、クリサジークのことを書いた
ブログや日記をウェブ上で目にすることがあります。

どこどこでクリサジークという犬種を初めて見た、とか、
愛犬の犬友はクリサジークという珍しい犬種、とか、
どこで売っているんだらう、との
コメントもありましたっけ。

クリサジークはショップでは販売していません。

チェコの PK クラブ(クリサジークの犬種クラブ)の規定に
繁殖者は、ショップや業者に販売してはならないとの
一文があります。

クリサジークは、
繁殖者が愛情を込めて育て、
その暖かい手から、
新しいご家族の暖かい手へと
代々ゆだねられて来たんです。

日本のクリサジーク達も
暖かい手から手へとゆだねられています。

PKJ(プラシユスキークリサジーク クラブ オブ ジャパン)へ
お問い合わせいただくと、
「子犬をご希望の方へのお便り」をお届け致します。

ご覧いただいてから連絡をいただければ、
お話し合いを重ねた上で
ご予約かそうでないか、などを
決めていただきます。

クリサジークと暮らしたい、と、
お思いになったなら
まずは PKJ へお問い合わせをお願い致します。

ただし PKJ は、チェコの PK クラブの

正式な日本支部として、
日本在住のクリサジークの血統を管理するという
大きなお役目があります。
(CMKUの血統書を持つクリサジークに限ります)

そのため、飼い主さんご一家には、
PKJにご入会いただき、
クラブの規約にのっとり
クリサジークと暮らしていただいています。

といっても、
愛犬家の常識の範疇。

PKJのクリサジーク達は
飼い主さんの愛情と責任感のもと、
皆、しあわせに暮らしています。

飼い主さんご一家もまた、
クリサジークから素敵な何かを
受け取ってらっしゃるのではないのでしょうか。

クリサジークと暮らしたいとお考えの際は
PKJにご一報くださいね。

また、クリサジークに関する
疑問や不安をお持ちの場合もなんなりとお話ください。
何かお役に立てることがあるかもしれません。



左は日本生まれのアレッシュ、右はチェコ生まれのオティルカ



しっぽ その2

2007.11.21 Wednesday

断尾が一般的だった時代が長かったので、しっぽの形を考慮したブリーディングがなされていなかったからだろうか、その表情は様々だ。

太い、細い、毛量も様々、ゴツゴツしていたり、長めだったり、短めだったり、クルンと上に巻いているもの、カワウソのように垂れているもの。

我が家の子なら、しっぽを見るだけでどの子だかわかるくらいだ。子犬の時には、わりとたやすく、母犬に踏まれるなどの事故で曲がってしまうこともあって、これはいつも心配。生まれながらに曲がっている事もあるし。

断尾もどこで切るか決まっているわけではない。数年前にチェコから来た1頭は5割ほど長く切ってあった。「ちょい長」がその頃の流行だったらしい。

短く断尾されたしっぽを小刻みに振ってニコニコしているのを見ると、今はないその先っぽまでを想像してみたりする。



ベンチに飛び乗り、嬉しそうに私を遊びに誘うテリ。



2007.11.14 Wednesday

7, 8年前まで、ほとんどのクリサジークにはしっぽがなかった。
断尾するのが普通だったのである。
ないといっても根元から2センチ前後は残してあるから、
嬉しいときには小刻みに左右に振れて愛らしい。

「何で切るんだろう？」
こんな質問をする私に返ってくる答えは、
「伝統だから。」
「この方がスタイリッシュでしょ。」
「大きくなってから尻尾に怪我をすると危ないから。」

昔はねずみ捕りの仕事をしていたし、
活発だから細くて長い尻尾は怪我が心配だったのだろうか。
でも、本当に断尾は必要？
聞けばルールで決まっているわけではないというし、
納得できる答えがなかったので私は自分の繁殖犬には断尾しないことにした。

今、日本生まれのクリサジークのほとんどは、生まれたままの尻尾を持っている。
ここ数年はチェコでも切らないことが増えたようで、なんとなく嬉しい。

こんな事を書くと、
断尾派の繁殖家であるS氏が海の向こうで呆れ顔をしているのが目に浮かぶ。
が、クリサジークのしっぽは切っても切らなくてもいいのである。



歯の問題・・・破折

2007.10.10 Wednesday

歯の健康のためにと骨や牛のヒヅメなどを与えることがありますね。ワンコたちは骨が大好きですし、噛むことで歯肉のマッサージにもなり、また良いストレス解消にもなるのですが実はトラブルも多いのです。長時間与えると歯が磨り減ったり割れる原因になり要注意です。15分から20分程度と時間を決めて与えましょう。

クリサジークでも、気づかぬうちに歯が折れていたとか、抜けていたとか、たまに聞きます。原因は、骨の噛みすぎ、そして、ケンカや入院ケージを出たい一心でガリガリやって、前歯が抜けてしまった・・・なんていう事故もあります。

歯髄まで割れると痛みが伴い、食事に時間がかかったり、食べなくなったりすることがあり、飼い主が長期間それに気が付かないと痩せてしまう原因にもなります。そのような場合、治療のほとんどは残念ながら抜歯です。しかし、抜いてしまえば痛みも無くなり食欲も回復します。

今は、犬の歯科専門のお医者様もありますから、もっと細やかな治療が希望の時には歯科医を尋ねてみるといいでしょう。破折の場合には何か充填するような治療があるかもしれません。



歯の問題・・・歯みがき

2007.10.03 Wednesday

さて、歯みがき。クリサジークの場合、これがなかなか厄介です。特に体の小さい子では口も小さくて、奥歯まで手が届かないことがあります。以前、小さすぎる個体の健康を保つことの難しさを書きましたが、

まさに歯の管理もとても難しい。

歯周病を予防する一番の方法は
飼い主の定期的な歯みがき、そして獣医師によるチェックです。

歯周病の原因には歯垢と歯石の蓄積があり、
歯垢は歯の表面に黄色く粘って張り付いています。
これは食べかすと唾液、そしてこの中には無数の細菌が住んでいます。

この細菌は歯肉炎の原因になりますし、
歯垢を放っておくと石灰化し、
歯石になってしまいます。
そして、歯周病になり、細菌が体に回っていくと内臓にまで問題が生じます。

歯垢が歯石に変わるまで1週間かかるといわれます。
ですから、今日出来た歯垢は一週間以内に取り除けば良いわけです。
歯垢を歯石にしなければ、まずはOK！

「じゃあ、週一回の歯みがきでいいんだ。」
とホッとするのはちょっと待った。

まず、1回の歯みがきで全ての歯を綺麗にするのは不可能に近いということ。
(やってみるとよくわかるんだなあ)

だから、ほぼ毎日の歯みがきで今日は前歯、
明日は横の方、明後日は奥歯、内側は…
というようにある程度重点ポイントを作るのも、気重にならずに、
磨き残しを作らない良い方法です。

これを毎日繰り返していると、一週間で一通り歯垢が取り除けます。
ですから、歯みがきはやっぱりほぼ毎日です。



歯みがきの好きな子なんて、まずいませんから、
成犬になってから始めるのはとても大変。
悪戦苦闘、磨く方、磨かれる方、ぐったりです。

でも、いつか、我慢して磨かせてくれる時が必ず来ますから、

飼い主さんファイトです。

本当は、子犬を迎えた頃から口の中に手を入れたり、
歯ブラシで「歯みがきごっこ」をしてはほめたり、ご褒美をあげたり。
とにかく、小さなうちに口の中を自由に触らせてくれるようしつけておくことが大切です。

ただし、小型犬では毎日歯みがきががんばっていたのに、
奥歯に歯石が着いてしまうことが多いです。

そうになると、やっぱり獣医さんのお世話になって
1,2年に一度くらいは歯石取りをしていただくことになります。

毎日の歯みがき、
そしてどんなにがんばってもダメな部分はちゃんと獣医さんにお願ひしましょう。



ちょっとわかりづらいのですが、左から右へと、ナント歯石が取れていく様子です。

本当は歯垢、歯石は歯の外側に多く着くのですが、これは歯の裏側の写真です。
根元にうっすらと汚れがついています。

中央写真の前臼歯内側(写真の一番上の歯)には黄色い歯石が見えますね。
でも、右の写真は見事に「輝く白！」

普通の歯磨きでは一度着いてしまった歯石をここまではなかなか取ることが出来ませんが、
この飼い主さんは人間用の超音波歯ブラシでパーフェクトな管理を手に入れました。

電動歯ブラシはとってもいいけれど、あの振動が好きじゃない子がほとんどで…。
なかなか、こうはいきません。
お見事！

次回は、歯の問題…破折



歯の問題・・・歯周病

2007.09.25 Tuesday

犬にとっても歯の健康は大切です。
犬の歯周病は大変多く、
一生健康な歯で過ごせることはまずないといわれています。
特に小型犬では避けて通れない問題のひとつ。

歯に問題があると痛みが伴うことが多く、食欲減退の原因になりますし、
細菌が血管を通って体中に回り、
心臓、腎臓、肝臓などの病気を起こす原因になることも知られています。
ちょっとドッキリですね。

口臭がする、歯茎が赤い、歯垢、歯石が着いている。
こんな時は歯周病の危険があります。

歯周病を起こさない一番の方法は、
飼い主の定期的な歯磨きと、獣医師によるチェックです。
歯垢が歯石になる前に取り除く。
そして歯肉のマッサージ。
愛情ある歯磨きで高齢になるまで歯周病を防ぎましょう。



はみがきでうっとり？！

次回は、歯の問題・・・歯磨き

歯の問題・・・残存乳歯

2007.09.11 Tuesday

犬に乳歯と永久歯があるのを皆さんご存知だろうか。
生まれて1ヶ月で生えてくる、
かわいらしい小さな歯は乳歯で、

どんな犬種でもせいぜい生後 8 ヶ月までには立派な永久歯に取って代わる。

ところが小型犬ではその生え代わりがうまく行かない事が多い。

特に犬歯は根が深いため最後まで抜けずに残ってしまう。

クリサジークも同様、ちょっと困った問題である。



犬歯・・・乳歯の内側から永久歯が出てきた。



二重に生えた犬歯と前歯、内側が永久歯

写真のように、前歯がずらりと二重に生えてしまうこともある。

クリサジークの場合、他の犬種よりも永久歯への抜け代わりが遅いのだが、場合によっては生後 1 子を見て、それでも抜けなければ獣医さんに抜いていただく。

全身麻酔の処置だから、本当は自然に抜けてくれるといいんですが。

でもこれはクリサジークに限った事ではありません。

小型犬の飼い主さん、ご自分の愛犬のお口の中をまじまじと見たことがありますか？

乳歯が残っていると歯並びが複雑になり、歯垢、歯石も付きやすくなります。

ほとんどの場合、乳歯は時期を見計らって(成犬になる前に)抜いておいた方がお口の健康が保て

次回は 歯の問題・・・歯周病

食事制限！？

2007.07.11 Wednesday

小型犬との生活をスタートさせたとき、
あまりの小ささに愛しさもヒトシオになることだろう。
いつまでも小さくいて欲しい、なんて思うのだろうか、
「小さく育てるためには食事の制限が必要ですよね？」
などといわれたことがある。

この考えは大きな間違い。
小さく育てて欲しいとの理由での食事制限はもってのほかです。

そんな事でサイズが変わるのなら、ブリーディングはいりませんし、それより、健康を害するだけですから、絶対にやってはいけません。純血種は長い年月をかけて人が作り上げたもので、小型犬は食事を減らしたからといって小さな犬になったわけでもありません。



子犬時の栄養不足は虚弱なからだを作り、一生に関わる何らかの問題を抱えてしまう可能性もあります。

いっぱい食べて、
小さくてもかしこく元気！健康！を目指し、たくさん手をかけてあげてください。

子犬時代が肝心・・・食事管理のポイント

2007.07.04 Wednesday

子犬を育てていると、食欲にも個性があることがよくわかります。大食漢の子は見とれてしまうほどの食べっぷりですが、食に執着しない子には、いかにたくさん食べてもらうかでとても気を遣います。

今回はそんな子犬にいっぱい食べてもらうコツをお話しましょう。まず、子犬の食事は一日3、4回。体の成長が穏やかになる生後8ヶ月までは徐々にえさの量を増やし、基本的には欲しがるだけ与える。

その子の現在の必要量を見出すのはなかなか大変なことで、必ずしも満足して食べた分で十分とは限らないし、反対に食べ過ぎの場合もあります。でも、痩せているよりは多少太っていた方がマシ、と考えると気が楽で、

太りすぎなら量を減らせば良いのですから簡単です。
ただし、そう太りませんからご安心を。

チェコのブリーダーは
「一度にたくさん食べられない子犬には、一日中フードを出しておくのが一番良い方法だ。」
といます。

私も子犬が巣立つまではこの方法をとることがあり、
良い結果が出ています。

ただ、チェコとは気候の違いもありますからフードが腐敗しないよう気を遣いますし、
多頭飼いのお宅では他の子の食事管理ができなくなるという問題点もあります。

気をつけたいのは、食事の時ちょっと匂いをかぎに来て、
食べずにまた遊びに行ってしまう、そんな時です。
これは、お腹がすいていないとは限りません。遊びに夢中なのです。
そんな子は環境を整えてあげるとパクパクと食べ始めることがあります。



では、どうするか

- ・遊び道具をしまう。遊ぶ雰囲気をなくす。
 - ・先住犬がいれば食事のとき、お互い近よれないようにする。
 - ・クレートの中で食事をさせる。「出してよ〜。」と鳴いても 20 分ほどは知らんぷりする。
- このように、遊びモードから気持ちを落ち着かせ、食事に集中できる環境を整えるのです。

それでも食べないときには、

- ・口先までフードを持っていく。
- ・口の中にフードを一粒入れてみる。

おかしな話ですが、口に入れてあげると「あれ？おいしい！」という表情になって
急にパクパクと食べ始めることがあります。

それから、

- ・先住犬がいれば一緒のお皿から飼い主の手で一粒ずつ与えてみる。

(競争心をあおる方法)

また、ちょっとお行儀悪いのですが、

フードを転がして興味をそそる。

小動物を追うような気分で転がったフードを追いかけて食べます。(これ、結構使えます)

「何でここまでしなくちゃだめなの？甘やかしていない？」

と、思われる方もいるだろう。

でも、子犬にはこのような方法をとってでも食べさせた方が良い場合があるのです。

お行儀悪い与え方も、大きくなれば必要なくなりますから心配ありません。

クリサジークのように活発、短毛で小さな犬種は必要カロリーが多く、

特に体力のない子犬が痩せているのは大変心配なことです。

病気や骨折等で手術や入院が必要になった場合、

痩せていることで二重のトラブルを招く恐れがあります。

しかし、幼犬のとき痩せ気味だった子も、

2歳を過ぎた頃から立派な体になることがほとんど。

小さなうちはいっぱい手を掛けてあげてくださいね。

子犬時代が肝心・・・食事と低血糖

2007.06.29 Friday

子犬には食事をしっかり摂らせる。

こんな当たり前のことが結構大変だったりする。

新しいおうちでの生活がスタートし、

環境とリズムが変わったことで、十分食事が摂れなくなる場合があるのです。

特に小さくて活発な子は、

せっかく出された食事でもそっこのけで遊びに夢中になってしまうことがあり、

タイミングよく食べられずに遊びつかれて寝てしまう。

「うちの子は小食だけど、元気ねー。」

なんて言っていると突然、低血糖の発作で倒れたりするかもしれない。

驚かせてしまったかもしれないが、

PKJでは低血糖が起こりやすいといわれる生後3ヶ月までは

母犬と一緒に繁殖者が育てるし、

どの子にも同じ確率で危険があるわけではないので、ご安心を。

発作を起こしたのも国内では今までに1頭だけ。

そう頻繁に起こることではありません。

でも、子犬時の食事管理を怠れば、

たやすく2頭目になる可能性があるということをお伝えしたいのです。

以前は我が家を巣立つとき、
小さい子にはお守りのようにブドウ糖のひと包みをお渡ししていたこともあるが、
最近はその必要性を感じなくなってきた。

それより低血糖にならない、
痩せた虚弱児にならない飼育方法を十分新しいご家族にお話したほうがいい。
クリサジークの子犬はちょっと気を付けながら育てた方が良く、
と、思っていただければありがたい。

「この子は小食なのね。」と、すぐに決めてしまわないこと。

「ちゃんと食べないなら、次のご飯までおあずけよ。」と、食事を下げてしまわないこと。
数回くり返されれば低血糖の危険性が、そして虚弱児が出来上がってしまう。

クリサジークのように短毛で体の小さな犬は多くのカロリーを必要とするし、
多少エネルギーを蓄えておかないと、何かあったときに心配なのだ。



僕はもりもり食べていつも元気！

小型犬でありながら筋骨自慢のクリサジークである。
痩せているのが心配だった子も成犬になれば体がしっかりしてくることがほとんどだ。
だからこそ、子犬時代をいかに健康に過ごすかが、何よりも大切だとつくづく感じている。

今回は、子犬の食事管理のポイント



「子犬時代が肝心・・・膝蓋骨脱臼」その2

2007.06.15 Friday

膝蓋骨脱臼は程度により4つのグレードに分けられますが(下記参照)、グレード3以上はそのまま放置していると症状が悪化することが多いようで手術も視野に入ってきます。

適期の手術とリハビリで走れるようになることが多いのだそうですが、手術の方法も状況によってさまざまです。



両後ろ足手術の直後、器用に前足だけで歩くことを覚えた。
今では4本足で元気に走り回っています。

生後1歳までの手術は術後の回復に期待でき、
全グレードで手術を行う獣医さんもいるようですが、
クリサジークの幼犬の場合、特に小さく痩せていますと、
手術そのものが命取りになる可能性もあり、
決して手術を選択するのは容易ではありません。

クリサジークの幼犬に見られるのはそのほとんどがグレード1～2で、
前回書いたような日常生活の中での注意点を覚えておけば、
そして、常に適度な運動で筋骨を鍛えておけば、
いたずらに症状を悪化させずに済むのではないかと思います。

チェコでクリサジークの会に参加したとき、
アジリティのデモンストレーションを見ました。
小さい体で上へ下へとがんばる姿に感心したのですが、
その小ささと活発さゆえ、事故が心配だという反対意見も多数ありました。

活発で賢いクリサジークですから、
アジリティなどのドッグスポーツも得意といわれますが、
始める前には膝や股関節の検査をしてもらい、
万が一少しでも弱いところが見つければ、ドッグスポーツはあきらめるべきです。

また、特に作業意欲が強く、
熱中しやすい子は事故の心配が拭えませんが、

飼い主が動きにセーブをかけられないのであれば、やらない方が無難です。

多くのクリサジークに接してみて思うことは・・・

どうしたって、この子達は活発なのですから、

羽目を外さぬよう、セーブをかけることが大切、ということです。

壮年期に入れば、どんな子でも思慮深さと落ち着きを持つようになりますが、

1歳までの若い時期が心配なのです。

膝蓋骨脱臼のグレード

- グレード1 症状が出ない事がほとんどで身体検査により発見される。
指で押すとはずれ、自然に戻る。痛みはない。
まれにスキップ様の歩行をする事もある。骨の変形はない。
- グレード2 日常生活で時々外れるが自然に戻ったり、指で押すと戻る。
たまにスキップや片足ケンケンをする。痛みはない。
- グレード3 常に脱臼状態で、指で押せば戻るが、すぐに脱臼してしまう。
片足ケンケンをする事がある。骨の変形が確認される。
- グレード4 常に脱臼状態で、指で戻らない。骨の変形も重度となる。
脱臼して入る肢にほとんど体重をかけることが出来ない。

次回は食事と低血糖

「子犬時代が肝心・・・膝蓋骨脱臼」その1

2007.06.15 Friday

何度も言っても恐縮ですが・・・クリサジークの子犬は大変活発です。

大抵の子は部屋中を所狭しと走り回ったかと思うと、コテツと寝て、しばらくするとムクツと起きて、トイレをし、ごはんを食べて・・・また運動会のように走り回ります。

数ヶ月は毎日この繰り返し。

これが健康な証拠で喜ばしい光景でもあるのですが、初めての飼い主さんはあまりの活発さに驚きます。



こんなことばかりしています・・・。

そこで気をつけなければならないのが、骨折などの事故と共に膝蓋骨脱臼です。

膝蓋骨脱臼とは

後ろ足の膝のお皿(膝蓋骨)が膝の溝(大腿骨の滑車溝)からはずれてしまう疾患で、多くの犬種が抱えている問題です。

特に小型犬の飼い主さんだったら一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか？

クリサジークの中には獣医さんから

「これだけの小型種なのに、立派な筋骨としっかりした関節をしているね。」と

褒められることもしばしばですが、

残念ながら若令で膝蓋骨脱臼が見つかることもしばしばなのです。

原因はさまざまですが、

生まれつき滑車溝が浅い、お皿とつながっている靭帯のつく位置が悪い、などの先天的なもの、

打撲や高いところから落ちる、交通事故など後天的なものがあります。

また、栄養障害によって骨に変形が生じて、なんてこともあるようです。

特に小型犬ではお皿が内側に外れる内方脱臼がほとんどで、

時々スキップする、片方の後ろ足を上げることがある、

などで飼い主が気づくことが多いのですが、

実は無症状でも膝蓋骨脱臼と診断されることがあります。

子犬のワクチン時には必ず膝蓋骨も検査していただきますが、

その時に問題がなくても、

生後4ヶ月、半年、1歳になって症状が現れることもあり、

軽度の膝蓋骨脱臼と診断された場合、

定期的に検査し経過を観察すると共に

症状を悪化させない日常管理が大切になります。

例えば、膝蓋骨脱臼と診断されていなくても

筋骨のしっかりとしてくる成犬までは、

ボール投げで勢い良く何度も走ったり、激しくジャンプしたり、

高速で急に曲がるような運動は控え、

いわゆる「適度な運動」を毎日続けるのが良いといわれています。

それ以外にも散歩時にリードをグイグイと引っ張るような歩き方も脱臼を誘発し、

それを繰り返すことで症状がひどくなります。

一度、脱臼が起きれば、どんな動きでなったのか観察し、

以降同じ動きをしなくて済むよう気をつけることも有効です。

そして、膝蓋骨脱臼と診断されれば、太らないように体重管理が必要といわれますが、

小さなクリサジークの子犬では痩せてしまっただけでは体力不足が心配ですから、

その辺の加減も難しくなります。

また、フローリングのようなすべりやすい床はじゅうたんを敷いたり、ソファーや椅子から飛び降りにくくする工夫も必要となるでしょう。

今回は膝蓋骨脱臼その2

幼犬時代が肝心・・・骨折

2007.06.07 Thursday

クリサジークにとって、幼犬時代をいかに事故なく過ごせるかが肝心。飼主はその活発さにヒヤヒヤすることもしばしばです。

骨折や脳震盪などの事故はほとんどの場合、生後半年から1歳までに起きていて、生まれて1、2ヶ月の子犬を見ていると「ヒヤ、この子骨折しやすいタイプ・・・」なんて思う事があります。小さなときの事故は、生まれ持った性格が大きく影響するんですね。

子犬の中にはとても高い確率で勇敢？な自信家がいる、自分の位置から床までの高さなんて一瞬も考えずに目標めがけてジャンプをします。

正座している膝の上からなら、大抵は口先を床で強打して「痛い！痛い！」と泣く事になりますが、運が悪ければ脳震盪です。これがイスに座った膝の上だったら・・・考えただけでもゾッとします。

少し大きくなると、イスの上などの高いところで昼寝をしていて、家族の帰宅の気配に慌てて飛び降りての骨折が目立ちます。いつもは平気な高さでも、寝ぼけ眼でバランスを崩すのが原因です。

それから、テーブルの上で物色していたのを家族に見つかって「ヤバッ！」と思わず飛び降りて、というの。この場合、犯行現場を押さえても決して大声で叱らないことです。慌てて飛び降りるに決まっていますから。

ですから、私は子犬を膝に抱く時、必ず両手を添えるようにしています。これ、とっても大事です。

成犬になれば、活発な子も落ち着きますし、「これやると危ないな。」と考えてから行動するようにもなります。

骨折は大抵前足。

治療方法はプレートで骨をつなぐ手術が一般的ですが、クリサジークの子犬サイズのプレートは小さすぎて獣医さんの手元にならない場合が多く、その日に手術できないこともありました。

手術のための麻酔、ギプス、入院、プレートを外す2回目の手術・・・。

ほぼ2ヶ月間、制限の多い不自由な生活を強いられ、不安が続くことになりました。



こんな格好になって、飼い主共々、へこみます・・・。

次回は膝蓋骨脱臼

小さくて

2007.05.23 Wednesday

なんといっても小さくてフレンドリー！

が、チャームポイントのクリサジークです。

元気に走り回る姿は時には大型犬を彷彿とさせ、力強さをも感じさせます。

ですが、実はチェコPKクラブは2005年、
体重2キロ以上、体高19～22センチというスタンダード(決まり)を
体重2～2.5キロ、体高21～23センチ
に変更しています。

これによって今までは「ちょっと大きめ？」といわれた個体も
繁殖に加わることができるようになり、
また、小さなメスには繁殖の許可が下りなくなりました。

どうしてでしょう？

これは、世界的な小型犬の極小化を懸念する動きに合わせたもの。

極小化は健康に問題を生じやすいということが明らかになり、

ヨーロッパでは2キロ以下のスタンダードを禁止する国が増えています。

小型犬クリサジークを世に送り出しているPKJも多くの個体を通し、この問題を実感。
小さくてフレンドリー！しかもきちんと健康なクリサジークを日々目指しています。



ポニタツェ(成犬検査)の様子。サイズ、スタイル、
性格、歯、などたくさんの項目をチェックします。

犬種名はプラシュスキー・クリサジーク

2007.03.07 Wednesday

「かわいい！ちっちゃいねー。」

そして必ず、

「なんて犬？」

「チワワ？」

外出先で愛犬と一緒にいるとよく言われます。

そういう時は、一呼吸おいてゆっくりと

「プラシュスキー・クリサジークって言います。」

と、答えるようにしています。

でも、相手の反応は

「???'」

わかってます、一回で覚えられる名前じゃないことを…。

だって、チェコ語です。

英語名の「プラガー・ラットラー」の方が覚えやすいけれど、

チェコの国犬でもあるクリサジーク。

やっぱり、チェコ語で呼びたいじゃないですか！

極力、発音に正確に、と考えて、考えて、決めた表記です。

ちなみに、直訳すると「プラハの小さなねずみ捕り」で、

(プラシュスキー)は、(プラハの)

(クリサジーク)は(小さなねずみ捕り)という意。

この、'小さな'には、サイズだけではなく、

(ちっちゃくてかわいらしい)というニュアンスも含まれています。

そこがクリサジークらしい。

でも、やっぱり長すぎて、
自分でも「クリサジーク」って略して言うようになってしまいました。
「ねずみ捕りちゃん」ってな感じですね。
チェコの人が聞いたら、おかしく思うでしょうが、
まあ、いいことにしましょう。

